

令和3年10月

チーム代表者様

広島県小学生バレーボール連盟
会長 後藤 尚史

ミカサカップ第8回広島県ソフトバレーボール大会における
新型コロナウイルス感染予防対策について(お願い)

コロナ禍における大会開催にあたり、選手が安心してプレーできる環境を保障し、選手ならびに大会関係者の健康と安全を守るために、下記の通り感染予防対策を行います。チーム関係者に周知するとともに、ご協力をお願いします。体調不良の場合や、大会前2週間以内に感染が疑われる者との接触があった場合など、感染の疑いが考えられる場合は、大会への参加をご遠慮ください。また、感染予防対策への協力が得られない場合は、参加をお断りすることがあります。大会実施後、関係者が感染陽性者となった場合、参加者名簿ならびに健康チェックシートを保健当局に開示することがあることをご了承ください。なお、今後の感染状況によっては、大会の中止の判断をする場合があることを申し添えます。

記

1 基本方針

広島県小学生バレーボール連盟が作成している「大会等開催に向けたガイドライン(新型コロナウイルス感染対策)」に基づき対応します。

- ◆ 三密の状況をつくらない。
- ◆ 指示されたウォーミングアップ及び試合中の選手以外はマスクを着用する。
- ◆ 大会中のソーシャルディスタンス(1m以上)を確保する。
- ◆ 大会関係者が、感染者になったとしても誹謗中傷は許さない。

2 大会まで

(1) 申し込み

- ①指定の申込書に必要事項を記入し申し込む。
- ②主催者が示す新型コロナウイルス感染予防対策に同意する。
- ③大会2週間前から、日々の健康チェックを行い、「健康チェックシート」に記録する。

(2) 抽選

- ①主催者が行う。

3 大会当日

(1) 受付

- ①チームの代表1名は、「大会参加者名簿」「健康チェックシート」(来館者全員)を持って受付を行う。それ以外の者は、受付が終わるまで館外で待機する。
- ③代表は、監督1名、引率者2名のリストバンドを受け取る。

(2) 入場

- ①受け付け終了後、選手以外は、手首にリストバンドを着ける。非接触体温計で検温する。(37.5℃以上は入館不可。)全員がそろって入館する。
- ②靴を持ったまま指定された観覧席に移動し待機する。

(3) 監督会議と開会式

- ①監督会議は、フロアで行う。放送があるまで観客席で待機する。
- ②開会式は行わない。試合開始前にルールの解説を行う。選手は観覧席で聞く。

(4) ウォーミングアップと試合

- ①指示があるまで観覧席で待機する。
- ②ウォーミングアップは、決められた時間に決められた場所で行う。
- ③指示されたウォーミングアップ及び試合中の選手は、マスクを外すことができる。
- ④大きな声を出してのかけ声や指示は控える。選手はネット越しに、相手コートに向かって発声しない。
- ⑤コートチェンジは行わない。
- ⑥試合中、選手同士のハイタッチなどの身体接触を控える。
- ⑦試合前後の握手はせず、挨拶はエンドラインでの礼のみとする。
- ⑧タオル・給水ボトル・アイシングバックなどは共用しない。

(5) 審判

- ①主審・副審は、笛の上に不織布マスクを着用するか、マスクカバーをつけて吹笛する。
- ②線審は、ハンドシグナルで合図する。

(6) 引率と応援

- ①入館できるのは、1 チームにつき選手 6 名・監督 1 名・引率者 2 名のみとし、応援者の入館はできない。
- ②引率者は、声を出しての応援をしない。
- ③試合中は、観覧席の所定の場所から観戦する。
- ④控えの選手は、声を出して応援をしない。

(7) トイレ

- ①順番を待つときは間隔を保って待つ。
- ②石けんを使って 30 秒の丁寧な手洗いを心がける。

(8) 飲食

- ①観覧席での飲食はできない。
- *午後 1 時までには終了する予定です。

(9) 表彰と閉会式

- ①表彰は、本部席前で行う。アナウンスがあるまで、観客席で待機しておくこと。
- ②閉会式は行わない。

(10) 退出

- ①チームは、除菌シートや消毒液を持参し、使用した観覧席を消毒して退出する。
- ②試合、審判、消毒が終わったチームは、代表者が本部に確認後、速やかに退館する。
- ③チームが出したゴミはすべて持ち帰る。

4 大会後

大会終了後 2 週間以内に、大会参加者の感染がわかった場合は、速やかに大会の感染対策責任者に連絡すること。

感染対策責任者 山岡 静樹

携帯電話番号 090-2864-0491